平成30年9月　文楽公演【東京・国立劇場】配役表

9月8日（土）～24日（月・休）

第一部　午前十一時開演（午後三時二十分ごろ終演予定）

明治一五〇年記念

南都二月堂 良弁杉由来

志賀の里の段

渚の方	睦太夫
小枝	小住太夫
腰元	亘太夫
腰元	碩太夫
	清友
ツレ	友之助
八雲	錦吾

桜の宮物狂いの段

津駒太夫
津國太夫
芳穂太夫
咲寿太夫
藤蔵
清馗
寛太郎
清公
清允

東大寺の段

靖太夫
錦糸

二月堂の段

千歳太夫
富助

乳母小枝	玉紋臣
光丸	玉峻
渚の方	和生
腰元小藤	玉誉（前半） 紋吉（後半）
腰元春枝	勘次郎
花売娘	簑紫郎
吹玉屋	勘市
船頭	亀次
雲弥坊	簑一郎
先供	勘介
良弁僧正	玉男
弟子僧	簑太郎（前半） 玉翔（後半）
弟子僧	玉彦
腰元	大ぜい
里の子	大ぜい
里人	大ぜい
供人	大ぜい
奴	大ぜい
近習	大ぜい
輿舁	大ぜい

増補忠臣蔵

本蔵下屋敷の段

前	呂太夫 團七
切	咲太夫 燕三
琴	燕二郎

井浪伴左衛門	玉佳
加古川本蔵	玉志
三千歳姫	一輔
小姓	玉征（前半） 勘昇（後半）
桃井若狭之助	玉助
奴	大ぜい
近習	大ぜい
下部	大ぜい

◆

ダブルキャスト
前半＝八日（土）～十六日（日）
後半＝十七日（月・祝）～二十四日（月・休）
トリプルキャスト
A＝八日（土）～十三日（木）
B＝十四日（金）～十九日（水）
C＝二十日（木）～二十四日（月・休）

第二部　午後四時開演（午後八時三十五分ごろ終演予定）

夏祭浪花鑑

住吉鳥居前の段

（野澤松之輔＝補曲）

口	咲寿太夫（前半） 小住太夫（後半） 友之助（前半） 寛太郎（後半）
奥	睦太夫 勝平

内本町道具屋の段

（野澤松之輔＝補曲）

口	亘太夫 清公
奥	三輪太夫 宗助

道行妹背の走書

（竹澤團七＝作曲）

磯之丞	織太夫
お中	芳穂太夫
三婦	文字栄太夫
伝八	南都太夫
	團吾
	清丈
	錦吾
	燕二郎

釣船三婦内の段

口	小住太夫（前半） 咲寿太夫（後半） 寛太郎（前半） 友之助（後半）
奥	呂勢太夫 清治

長町裏の段

団七	織太夫
義平次	三輪太夫
	清志郎

田島町団七内の段

	文字久太夫 清介
アト	希太夫 清丈

釣船三婦	玉也
倅市松	簑之助
団七女房お梶	清十郎
こっぱの権	紋秀
なまの八	玉翔（前半） 簑太郎（後半）
玉島磯之丞	勘彌
団七九郎兵衛	勘十郎
役人	玉峻（A） 玉延（B） 簑悠（C）
傾城琴浦	清五郎
大鳥佐賀右衛門	玉勢
一寸徳兵衛	文司
娘お中	文昇
三河屋義平次	玉男
番頭伝八	簑二郎
仲買弥市	文哉
道具屋孫右衛門	玉輝
三婦女房おつぎ	勘壽
徳兵衛女房お辰	簑助
代官左膳	玉路（前半） 和馬（後半）
捕手	大ぜい
下僕	大ぜい
駕籠屋	大ぜい
若中	大ぜい
子供	大ぜい